記載例

【記録外書面】　　一般【申立人用】

進行に関する照会回答書

この書類は，調停を進めるための参考にする事項を記入していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)，空欄には自由に記入して，申立ての際に提出してください。
なお，この書類は，相手方が閲覧したりコピーをとることはありません。

1　相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	☑ 応じると思う。 ☐ 応じないと思う。 ☐ 全く話合いに応じないから。　☐ 意見があまりにも食い違っているから。 ☐ 本気で解決する気持ちがないから。　☐ 裁判所で解決する気持ちがないから。 ☐ その他（　　） ☐ 分からない。
2　調停での話合いは円滑に進められると思いますか。	☐ 進められると思う。 ☑ 進められないと思う。 ☐ 相手方が感情的になっているから。　☑ 意見があまりにも食い違っているから。 ☐ 相手方の態度がはっきりしないから。☐ その他（　　） ☐ 分からない。
3　この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	☐ 伝えた。 ☑ 伝えていない。 ☐ すぐ知らせる。　☑ 自分からは知らせるつもりはない。　☐自分からは知らせにくい。
4　相手方の暴力やつきまといの状況について記入してください。 **（暴力やつきまといの心配がある方のみ記入してください。）** **☐ 暴力やつきまといの心配はない。**	(1) 相手方からの暴力はどのような内容ですか。 ☐身体的暴力　☑精神的暴力　☐性的暴力 (2) 相手方の暴力で治療を受けたことはありますか。 ☐ある　☑ない (3) 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。 ☐はい　→ 保護命令は出ましたか。｛☐はい（**保護命令決定書謄本のコピーを提出してください。**）☐いいえ ☑いいえ (4) 相手方につきまとわれたことがありますか。 ☑ある　☐ない (5) 来庁時あなたに付き添う人がいますか(※付き添いの人は調停室に入室することはできません)。 ☐いる（氏名：　　続柄：　　）　☑いない (6) 相手方の調停時の対応について ☑裁判所で暴力をふるうおそれはない。 ☐申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 ☐裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるうおそれがある。 ☐裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 ☐裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 ☐裁判所へ薬物，アルコール類を飲んでくるおそれがある。 ☑裁判所内や裁判所への行き帰りの際につきまとうおそれがある。
5　相手方の電話連絡先を記入してください。	☐ 自　宅（TEL　　－　　－　　） ☑ 携　帯（TEL ●●● － ●●●●－●●●● ） ☐ 勤務先（TEL　　－　　－　　） ☐ その他（TEL　　－　　－　　）（場所　　）
6　現在治療中の病気がありますか。	☐ 申立人（病名 ☐ 相手方（病名 ☐ 子ども（名前　　病名　　） **治療中の病気がない場合には記載する必要はありません。**
7　調停に関して裁判所への要望があれば記入してください。	
8　調停期日の希望等があれば記入してください。 **※調停は平日の日中(午前は10時から12時ころまで，午後は1時30分から4時ころまで)に行います。**	申立人の　☑ 希望する日　　水，金　　曜日　午前・午後 ☐ 差し支える日　　曜日　午前・午後 (すでに差し支えることがわかっている日→　　) 相手方の　☐ 希望する日　　曜日　午前・午後 ☐ 差し支える日　　曜日　午前・午後 (※わからなければ無理に記入しなくてもかまいません。)

日付と氏名を記入してください。

令和　　年　　月　　日

作成者氏名